

会 議 録

件 名	紀見北地区 地域説明会・意見交換会
日 時	令和6年7月25日（木）午後7時00分から午後8時50分
場 所	柱本小学校 体育館
参加者	紀見北地区 23名 今田教育長、岡教育部長、阪口参事、丸山教育総務課長、大谷学校教育課長 籾下教育委員、東学校再編推進係長、東川、中山

今田教育長挨拶、東学校再編推進係長から資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。なお、お帰りの際に、発言できなかったことについての意見等をご記入いただきました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1. 矢倉脇に住んでいます。20 ページの橋本市教育委員会が考える望ましい学校規模ということですが、1 学級人員というのは何名が考えられているのか。実際、私自身は少ない学級でも少ない人数でも、学級数が 2 学級あればいいという、10 人の 2 学級という考え方もできることはないかということを考えていますので、35 名から 40 名か、昔やったら 50 名というようなどころもありましたが、私が高校のころは 1 学級 50 名でしたから、そういう点から考えると、その 1 学級何名が適正なのかということについてちょっと説明をお願いしたいと思います。

（教育委員会）

基準ですけども、県の基準に準拠をとりまして、1 学級 35 人というのが基準になっています。

2-1. 質問です。橋本市のホームページにあるものを見ているんですが、橋本市小学校中学校の適正規模についての検討委員会の中では、望ましい学級の人数として小学校は 20 から 25 名程度。検討委員会がしたアンケートにおいても同様の意見が多かったとあります。ただし、教育委員会の方針になったときには、そういう人数を定めませんとホームページに載っていますよね。それは答申はそんなふうになっていたんですが、教育委員会では、今言った 35 名になったという見解でいいですか。

（教育委員会）

国、文科省が定めている人数が 1 学級 35 名ということになっております。第 1 期の方針のときには、橋本市もそのような人数が望ましいということで定めていたのですが、今回第 2 期の方針につきましては、その人数をあえて定めないとしています。

2-2. なぜ定めないので、県、国の規定で 35 名になるんですか。定めないのでよね。答申の方では 20 名から 25 名になっているはずですよ。その答申は無視するのですか。答申しているのですが、そのことに関しては、教育委員会は関係なく、橋本市としては定めないので、35 名であるということよろしいんですか。

(教育長)

35 人というのは、1 学級の最大の人数で国が示しており、県教育委員会も定めている数です。35 人が適正だという判断をしているということではないので、その数字のところについては、今のような説明でご理解いただきたいと思います。

それと、第 1 期のときについては、25 名程度の人数ということで定めていたと思うのですが、実際 35 人までだったら 1 学級ですけれども、36 人になると 2 学級になります。ルールで言うと、36 ですから 18 人と 18 人といった数になります。ですから、20 数名というのは、指導もしやすい人数ということで第 1 期のときは決めていたのですが、その 35 名ということに、定員の数が少なくなったことによって、その数というのは一定程度そのぐらいの数になるということをお考えの上で、今回については定めていないというふうにご理解いただければと思います。

2-3. すいませんが何言っているかわからないんですが、そもそも確かに 36 になったら 2 学級になるっていうのはわかるんです。そういう話はあるんですけど、大体 20 から 25 名って書いてある答申でもあって、それまでの橋本市の方針はそれだったわけですよね。それを今回その答申もないのに、今回適正化するのに定めないので、それでその上で、県の方針を 35 名にしたという理由は何ですか。

(教育長)

35 名については、橋本市が定めているのではなくて、国そして県教育委員会が定めている数字です。

2-4. 県がどうのというのは置いてですね、橋本市として 20 から 25 名で適正やったっていうわけですよ。教育委員会は独立しているわけでしょ。橋本市教育委員会は、その小学校決める権限というのは、県のそういう方針に定まっていなとおかしいわけですか。それとも橋本市教育委員会が、その小学校の適正なことを決められるということではないんですか。そこら辺はどう感じ考えているんですか。それとも 35 名にしないと何か不都合なことがあるというのでしたら説明してください。

(教育長)

橋本市教育委員会がその 35 の定員の数というのを決めることはできません。国の方針、そして、それを受けて県教育委員会が定めるというのがあります。橋本市教育委員会としてはその 35 という数字を変えて、例えば、30 にして 31 になったら 2 クラスにしますよということについては、決めることはできないということでご理解ください。

2-5. 仮にそれが決められないとしましょう。では何で適正の数を1学級にしたんですか。1学年2学級ないと適正な人数じゃないというふうに決めたというのは、それも県の方針ということでもいいんですか。

(教育長)

2学級以上あった方が先ほど説明させてもらったように、子供たちの人間関係であるとか、そして、多様な学びの場を提供する、そういった形のことが1学級よりも幅広くいろんなことが取組めるということで2学級以上、例えばもう少しあった方がいい場合もあるんですけども、今の橋本市の現状を考えたとき、それで2という数字で答申もいただき、そして私たちもそのように考えたということでご理解ください。

2-6. 教育委員会と保護者の方とか、教育委員会というか、その中の検討委員会に諮問をされて、その意見をもとに教育委員会が決めたということなんですよ。そこで、答申の中で、2学級でないと駄目というふうな答申はしてないのに、それを何かその教育委員会が決めたということは、橋本市の方針として、その2学級で行く、2学級でないと基本的には小学校を廃校にするという方針でいいんですね。

(教育委員会)

廃校するための方針ではなく、学校再編するための方針としてとらえていただけたら非常にありがたいです。望ましいクラス数として、やはりクラス替えができるということで示させてもらっているんですけど、決して廃校に追い込むための方針ではございません。

2-7. その意味がわからないんですけど、基本的には小学校を廃校にすることですよ、一緒にすることは。そういう一緒にするというのと廃校というのは一致しないんですか。もう小学校を廃校にして、三石小と一緒にするというのと、今おっしゃられたその三石小と統廃合するのは意味が違うということですか。その意味をちょっと詳しく説明してください。

(教育委員会)

同じ中学校区で学校再編を進めていく中で、急激に子供の数が減っていますので、今後の減り方を考えたときに、説明の中でも10年間で約20%、市立小学校の子供の数が減っているという現状です。この急勾配がもっと加速化した場合に、一定の学校のクラスの規模を考えておかないと、子供の数が減ってから策を考えても手遅れになると思い、第2期方針を出させていただきました。そういう学校再編を中学校区の中で行うために、今回示させてもらっていることをございます。

2-8. 一定の適切な規模というのが35名ということによろしいんですね。基本的には、これはあくまでも推計であって、基本的に、ここに書いてあるのが、平成26年度でもそういう推計をしたんだけど、結局そうはならなかったと。人口はどうなるかどうかは、基本

的にはこれは推計にすぎないと思うんですよ。じゃあどの時点でそれを判断するつもりでいらっしゃるんですか。

(教育委員会)

どの時点でということになりますと、25 ページにあります最短目標年度を1つの基準として考えています。冒頭で35というふうに申しあげましたのは、最大のクラス定員のことを申しあげたので、ちょっとややこしくてすいません。今回の第2期方針の中では、何名から何名というクラスの人数は定めておりません。

2-9. ちょっと質問変えるんですが、2回説明するとはおっしゃっていましたが、何でこんな人数しか集まらないのかという話なんですけど、そもそも回覧見ていたんですよ。回覧は回ってきていなかったです。自分は紀見ヶ丘の事務所に電話しました。最初電話したら、なんて言われたかというのと、その説明会ないですよと言われました。そのあと電話があって、実はありますよ、25日という話で、確かにホームページ載っていますよ。広報に載っているかもしれません。広報見ていませんけど。でも、回覧は出回ったのを私は見ていませんが、それは橋本市さんが作って、ちゃんと回覧でまわして、ちゃんと周知したんですか。

(教育委員会)

回覧につきましては、紀見区長会で説明させていただいて、区長さんに地域説明会をさせていただきたいので、広報にも載せますけれども、別途回覧をお願いするという願いをしました。各地域で必要な回覧の部数を7月号の広報紙を6月末に配布するとき一緒に入れさせていただいて、区にお願いしている次第でございます。

2-10. 私はちょっと確認していただいただけですね。これだけの人数しか集まっていないということよろしいですね。

じゃあちょっと変えます。中学校の廃止の方針、前の第1期ですかね、1期にも何か紀見東中学校の学校を潰すという話がありました。そもそも、何で中学校を潰すというようなマイナスな話をするのか。橋本市、人口減っているわけですよ、人口を増やしていかないといけない、移住定住を考える。そこで、中学校は廃止しますで来ますかと、ずっと私も思っていました。今度、柱本小学校を統廃合します。これが噂としても流れます。こんなところに住むと思いますか。今ここ1,000軒あるんですよ。1,000軒あって確かに空き地もありますけど、空き家もありますけど、ここに小学校があるから人が来るんですよ。もし小学校なくなったら、人来ませんよ。保育所は作るのに小学校は潰す。これはどういう方針ですか。まちづくりも何も教育委員会は関係ないということでもいいんですね。

(教育委員会)

今の質問が一番ちょっと苦しいところですが、的確にご指摘いただいているのは事実なんです。まず最初、不動産のことを申しあげると、やはり若い世代の方が、親から自立して自分の住まいをローンを抱えて購入するときに、何を一番に考えるかといえば、ほとんどの方

が子供を授かったときに歩いて行ける距離か、道順とか距離とか、そういったところを想定して不動産の購入を考えられると思います。多分当たっていると思います。この話がほとんどの方と共有できる中で、この柱本小学校を再編の基本方針に入れているんですけど、これがもし本当に計画されたら三石小と統合されて、ここに学校がなくなると、紀見ヶ丘とか光陽台にお住まいする新しく入ってくる方は少なくなると思いますか、来ないんじゃないかという考え、そのお話は否めません。橋本市が定住促進を目指すべきでありながら、今、私たちがやっていることを、本当にまちづくりとしたらいいのかと問われたら、正直答えとしては苦しいです。私たちは、子供の数が減ってきて一定の学習規模をやはり備えてあげないと、いずれ受験という競争心とか切磋琢磨する環境が必要なのに、小規模ですずっと行くのもいいんですけど、やはりもっとこれ以上子供の数が少なくなったら、クラスの中で一定の学習をグループ学習とか、一斉学習、個別学習というのをできる環境の方が、子供たちに望ましいと思って考えたんです。本当にまちづくりのことと、教育のことは関係ないのかと言われたら、ないことはないんですけど、第2期方針の視点としては、よりよい学習環境という形で視点を当てさせてもらっている次第です。

2-11. 今、来られている方は、基本的にはもう子育てが終わっている方がほとんどです。私は子育てもやっていますが、もう小学校の子供はいなくなります。ただ、今、橋本市のその方針もあって、住民サービスをだんだん切っていっていますよね。例えば、ごみを回収するのを1回にするとか、あと何かいろんなそういうサービスを切っているのに、水道料金は値上げしたり、公共料金を上げる。今度は小学校もなくす。サービスは切っていても公共料金を上げる。ずっとこれですよ。

もし小学校がなくなれば、もちろん住宅の価格下がります。私なんかは家を売るつもりがないので、確かに固定資産は下がるでしょう。今は一旦、でも結局、その人口が少なくなったらその負担は自分らに関わってくるんですよ、公共料金上がるんですよ。だから、今、子育て終わっている方も、結局同じなんです。人がいなくなったら、その分公共料金が上がるし、いろんなサービスは切られるし、マイナスしかないんです。それまでは、あそこの紀見ヶ丘があったときには、いろんな店がありました。今店つぶれています。いろんなところでない状態ですよ。ほとんど店がね。それも結局そういうことになるんですよ。ただ、ここに小学校があるということで、まだ若い世代、子育て世代が入ってこれる素地があるんです。それを潰すってことは、移住定住を本当に進めているならおかしいと思う。さっき何か課長さんは、素直におっしゃってました。実際何かそれは厳しいことだと、でも教育のレベルを上げたいと。教育のレベルを上げるというか、基本的には小学校があることによって、別に教育のレベルというのは先生がすれば上がることです。この前の人おっしゃったように、10人でも、5人でも教育レベルは下がらないですよ。その先生のやり方ですもん。何か少なくなったら、その方針で教育やればいいじゃないですか。それよりも、私たちが気になるのは、この紀見ヶ丘の価値が下がることです。基本的に柱本小学校は、なくなれば価値が

下がります。住民サービスは低下します。公共料金は上がります。そういうことだと理解しますが、それについてはどう思われますか。

(教育委員会)

おっしゃられたことを、なかなか苦しいんですけれど否めないところは多々あると思います。教育委員会でお答えできる範囲を超えてのご質問をいただいて、料金設定であったり、そういったところは我々だけで今即答できるものではありません。今回のテーマ、第2期方針の中身を説明させていただいて、皆様方と意見交換をさせていただきたいという旨で私たち来ましたので、ちょっと大きなまちづくりの観点につきましては、すいません即答はいたしかねる状況です。申し訳ありません。

2-12. 危惧しているのは、今からパブリックコメントしますという話ですね、令和11年度には統廃合していく話なんですけど、この間、鹿児島県の長島町だったと思います。町の教育、小学校を廃校するのにパブリックコメントを取ったと。確か9,000人の市民の中で、1,000人ぐらいのパブリックコメントがあったと。その内の1,000人が、それわかりませんよ、実際のところ町長は否定していますから、1,000人は賛同していましたと、要するにパブリックコメントは基本的にそれが本当やとしてです。これはあくまでも否定しているので、あくまでも事実はわかりません。これはあくまでもネットのことなので、これは。そもそも統廃合ありきでパブリックコメントをしようという感じで進めてるのだったら、幾ら説明会をしても、この説明会をしたことによって住民が認めたなんて、この人数ですよ1,000軒あって、この人数を、説明会して、それでなんか認めたと言われても、それは何やねんと。パブリックコメントをやって、5万6万人おって何名かくるかしりませんが指標があるとして、それはもう仮定です。あくまでも想像なんで、これは何か別に仮定ですよ。そんな感じで、もうあくまでも令和11年にもう潰すことありきで進んでいるんやったら私は怖いと思うんですが、そこら辺はどうなんですか。まだ、その令和11年にするというのはあくまで予定であって、確かに最短と書いてはいますが、予定であって、そのつもりはまだ撤回する可能性はあるんですか。

(教育委員会)

ただいまのご質問につきましてですけれど、現在は教育委員会の方針をお伝えしている状況でして、橋本市としての再編を決定したわけではございません。26ページですが、この令和7年の下に点々で、(仮称)橋本市の新しい学校づくり推進計画策定、これまでの予定ですけれど、ここで、橋本市として学校再編の時期と対象校が決定しますので、現在は教育委員会としての方針をお伝えしている状況ですので、確定かどうかということでは、まだ確定には至っていません。皆様方からいろんな意見を、保護者様からいただいています。地域の方も、昨日も別のところへ行ってきたんですけれど、強引にこれを推し進めるというのはございません。なおかつ、再編統廃合ありきで説明会をしているのではなく、今は計画の説明会ではなく、計画に至るまでの方針の説明会で意見交換をさせていただいているとこ

ろでご理解いただきたいと思います。

2-13. ありがとうございます。そのことは信じたいんですけど、けどです。私の子供が山田保育園に行っていました。山田保育園は今ないです。あのときに、基本的に統廃合の話がありました。説明会ありました。でもあのときには、あそこの幼稚園をもう合併することありきで説明会がありました。実際、その説明会参加していましたが、みんな保護者の方は何のことがわかりません。急に降って湧いたような話です。でも、橋本市はもう、それを統廃合すると決めてました。だから何を言っても、それに対してはもう聞く耳持たないと。もう基本的に説明会ですよ。あくまでもその決まっていますと言いました。でも、やったのは結局統廃合です。結局山田保育園はつぶれました。山田保育園は、その時に30人という定員に30人やったんですよ。だから適正な配置あったんです。でも、なぜそうなったかというのはもう詳しくは言いませんけど、私は思っているだけで、もうそれは想像なんて言いませんが、基本的に合併する必要が橋本市にあった理由はね、多分、合併したいんだろうと思うので、今回本当にこれが計画段階で、あくまでもその意見だけを求めていると言うのだったら、そんなふうにしていただきたいんですけど、それに対して教育長はどう思われますか。

(教育長)

先ほど部長が申しましたように、進めている段階です。私としても同じ考えで進めています。ただし、私たちが考えているのと違うご意見はあるかと思えますけれども、子供たちを育てる環境について、どうしていくことがいいのかということで、私たちは提案させてもらう。その中で、一定の集団を確保した中で、これから子供たちを育てていくことに取り組んでいきたいということで、今回の方針を説明させていただいています。それに対するご意見というのはいろいろあると思うんです。それを聞かせてもらった中で、ここでこう変えていきます、そうしますということは申し上げることはできませんが、ご意見、地域説明会終わって、関係するところも終わった後で、内部で並行して検討もしているんですけども、その検討の中でどうしていくかということは協議し、また皆さんにお伝えさせていただきたいと思っています。

3. 三石台の住民です。今、市教委さんの方で、一応計画ということをこれ進めているという話があったと思うんですが、実は10年前の基本方針では、私も地域代表の1人として関わってきたんですけども、紀見北中学校は令和5年には生徒数が80数名になるからクラス替えができない。だから紀見東中学校に統合するという、これも決定事項という形で流されました。これは、我々としてはとてもじゃないけども、これは信じたくないし、そうじゃないように人をもっともっと呼び込むような街づくりをしていかなきゃいけないということもあって、地域でとにかく統廃合はやめてくれと。紀見北中学校に生徒さんをたくさん呼び込むような取組を地域としてするんで、ぜひ基本方針で、これこのときはもうパ

ブコメも全部集め終わったときだったんですけども、地域としてお願いして、撤回することができた。心配されていると思うんですけども、地域としての声をまとめて、それをしっかりと教育委員会、或いは市長に伝える、そういうことで、動きが変わってくると思いますんで、ちょっと失礼ながら申し上げたいと思います。

4-1. 橋谷区に住んでいます。小学校の子供がもう大きくなって、児童がいないんですけど、孫の世代が三石小学校に入っていくので、ちょっと興味あって来ました。橋谷は先ほどちょっと説明ありましたが回覧版できちっと回ってきています。だから、そこらはちょっと制度の難しいところかなというのが1つと、あと、答申なんですけども私も前の方、皆さん顔見知りも多いんですけど、なかなか答申がそのまま施策に入るのは本当まれなこと、答申はあくまで皆さんの意見を聞く、聞いてその中で、いいとこ取りといったら逆に申し訳ないですけども、すべてが市民のとおりになる、或いは有識者の議長さんのとおりになるというわけではないので、参考程度といつも思いながらも、決めれる会議に出ていかないことには、こういう意見がとおらないので一応出させてもらっています。

24 ページの子供が少なくなってくるのはもちろんですけども、例えば、かつらぎ町、河内長野市、五條市から永住とか移住とかそういう形で来たとしても、逆に向こうはまた少なくなるわけで、市のグローバルなところでいくと本当は人口、子供の人数はやっぱり減ってくるわけで、その中で、⑥番の学童保育のニーズが高いとか、④番の安全対策で、見守り隊とかはあるかもわかりませんが、そのあたり、町の人口構成も大きく変わってくる中で、いつまでもお年寄りの人に頼ってばかりはおられないと思うんで、合わせてその辺を数字的にも見直しといて欲しいなというのと、あと一番気になるのは、ちょっと言ってくれていますが、学校であるとか保護者の数もほとんど少ないと思うんで、学生自身はどう思っているのかなって、児童、中学生がどう思っているのかが、実は私はもともと隅田町の下兵庫の方に住んでいました。当時、兵庫小学校、私の数年前までありましたけども、隅田小学校に統廃合で、山内小学校と一緒にになりました。ただそのあと兵庫地区には新興住宅地、値段は少し安くなっていくということで、あやの台ほどの爆発的な戸数はなかったですけども、そんなに減らずに隅田小学校、今でも新開自動車教習所のあたりには、微増ながらミニ開発が起こっているということで、逆に学校があるから住みやすいんだけど、学校があるから高いということで三石小がそういうグローバルな形で光陽台、紀見ヶ丘というのも今後は見ていく、或いは、市がシティーセールスとかもあるわけでそういうところを売り出して欲しいという考えもあるんで、また持って帰ってもらって、教育委員会ではなかなか回答でないと思うんでそこをよろしくお願いしたいと思います。

もう1点だけ最後、学校給食ですけど、この人数で例えば、令和11年ぐらいで仮に統廃合になったときに、この学校給食の小中学校の給食の予算化と人数と料理と、これがきっちり確保できるのか、直接関係ないし、部署が違うかもわかりませんが、そのあたりの情報もちょっと開示してもらわないと、同じ値段を払って、ある地域では物価上昇もあつ

て燃料費の上昇もあってすごく給食の質が低下してるということを聞きますし、SNSの上では実際給食費上がってきて、これどう思いますかみたいなSNSもあるので、そのあたり、もしわかったら、今度第2回とかの説明会のときにはよろしくお願ひしたいと思ひます。

でも、先ほどおっしゃっていたように、パブリックコメントしたときに、パブリックコメントをして何が変わるということ、もう本当、微々たるものかなと思ひていますんで、やはりパブリックコメントに出たときにはもう答へくれますよね、パブリックコメントの担当の人で、こういう方針でやろうと思ひますと、まさにそうですね。

もう一度持ち帰って、変更したいと思ひますなんていうのは、ほとんどパブリックコメントではないので、やっぱりパブリックコメントが出てくるまでに説明じゃなしに、ある程度持つて帰るのか、決められるのか、決められるところに出られるのだったら、最終的には議員さんとか、市議会とか、そういう決定機関にゆだねるしか仕方ないかと思ひんで、その辺の人達とも我々も勉強会とか開かなければならぬかなと思ひますんで、またいろんなこと、まとまりない話を要望しましたけどよろしくお願ひしたいと思ひます。

(教育委員会)

ありがとうございます。今本当にいろんなご意見いただきました。いただいたからとすぐ決定が正直できなくて、いろんな考えをいただいた中で、全体を見据えて考える時間が必要で、中でも正直衝突することもあります。だからそういったところは、教育委員会の事務局というのは、本来学校現場の背中を押す組織なんで、学校を、子供たちの学力をどうしていくか、学習環境をどうしていくか、考えたところに視点を持つて考えていきます。

1点だけ、今、給食のことが出たんですけど、確かに物価は上がっています。普通に考えたら給食の材料費も上がっているんですけど、材料費が上がったからといって、同じ予算の中で給食作ったら中身が乏しくなることにならないように、学校給食センターは考えているところです。

4-2. 14 ページ、令和11年の児童は、令和2年の数字から、約600から700人ぐらい下がっている中でも、現状維持ぐらいの予算で、現状維持の学校給食、各負担額で現状維持のできるかということ、今答えてもらわなくてもいいんで、またホームページなり、こういう説明会のときに、いやいやちょっとやっぱり無理になってきました。1.2倍、1.3倍のちょっと負担をお願ひしたい、しますと。もうやっぱり正直に後から維持しますとか今決められませんというのは、やっぱり皆さんちょっと情報公開という面でいったら、情報共有という面で行くと、ちょっと煮え切れぬところはあつて、持つて帰つてももう1つ歯切れ悪い感覚を受けるかと思ひるので、もう上がるところは正直に、次回とか、ホームページで載せてもらつたら、こつちも納得するかなと思ひんでよろしくお願ひします。

5. 児童数の推移について、冒頭、事務局からいわゆる出生ですね、出生をベースに考えて

いるということで、まちづくりの成果である移住とか、いろんなところから若い方が来て子供さんが増えて、というところが全く反映されてない。なぜこれを言うかという10年前の基本方針の中で大きくずれていたんです。令和5年に紀見北中学校85名だったかな、実際は150数名。なぜこんなことを言うかという、柱本小学校と三石小学校は紀見北中学校区ですよ。紀見北中学校には、この2つの学校以外はないと思うんですが間違いありません。となれば、ある程度しっかりした見通しのもとに生徒数を予測しないと、1クラス、もしかしてずっと1クラスになったら、小学校1年生から中学校3年生まで、同じ人が同じ生徒が同じ仲間となるわけですよ。それがクラス替えができる状態であれば、そうではないかもしれないけれども、学年によってはそうじゃない状況になるかもわからない。地域としてはそれ非常に気にしているんです。ですから、いわゆる紀見北中学校区にある小学校は、1校でいいのか複数であるべきなのかというのは、もうちょっと詳細な検討をいただければと地域からのお願いでございます。

6-1. 紀見ヶ丘に住んでいます。先ほどパブリックコメントを書いても、なかなか反映されないということをおっしゃっていただきましたが、はしもとプラチカとか、はぐくむ条例で、行政と市民と議員が三位一体で進めていくということが決まっております。一方的に進めるということはいかがなもの、一方的に進めるわけではないというふうにおっしゃっていただきましたが、やはり市民と一緒に考えて方向性を定めて欲しいという、先ほどの方もおっしゃっていましたが。対話によって進めて欲しいということはまず1点、意見として申し上げたいと思います。それと、僕わからなくて教えて欲しいのですが、危険度が高くなって街中に高野口中学校を持ってきて欲しいという方がいらっしゃいます。議会で耐力度調査をする予算を承認したようですけれども、高野口中学校について、現状がどのようになっているか、確認されたかどうか、危険度が高いというふうに、かなりの方が立ち上がっているようでございますが、その辺認識があるかどうかちょっと教えていただきたい。危険度が高いということは子供たちも危ない可能性があるということだと思いますので教えていただきたい。統廃合して、もしかしたら無くなる学校ありますよね、そしたら無くなった学校それどうするつもりなのか。それも合わせて、無くなって欲しくないという意見もたくさんあるのもよくわかります。ただ、無くなったときにどうするか、それまで考えておられるかどうか、それもちょっと含めてお答えください。

(教育委員会)

3点いただきましたので、順番にいかせていただきます。まず、はぐくむ条例もありますので、意見を聞いて進めて欲しいという、ご質問あったと思うんですけども。

6-2. その知らせがないので、回覧版とか僕もチェックしていますが、なかなか見えないし、広報紙も見ていますがあんまり見れない。ホームページを見てくださいと言われますがホームページをいちいち確認する方があんまりいません。あらゆる方法で知らせ

てください。まずそれ申し上げたいと思います。どこの課行ってもホームページ書いていますから見てください、これでは分かりません。はっきり言って。我々わからなければ集まりようがないでしょう。まず理解いただきたいと思います。

(教育委員会)

広報に出すタイミングとか時期とかも含めて、そのあたり考えさせてもらいます。当然、対話という今キーワードをおっしゃっていただきましたけど、こういった意見は汲み取らせていただいて、総合的な視点で子供たちの学習環境を考えさせてください。

2点目の高野口中学校のことで答えられる範囲で申し上げます。実際、学校運営していますので、危険度が高いかどうかといえ、そこは大丈夫という言い方は変ですけども学校運営はできています。ただ、一部で見た目、校舎で老朽化が進んでいる現状がありますので、ここで大きな改築をするのか、できるのかどうか、という意味で耐力度調査というのを行っているところです。今、行っておまして、一部の市民の有志の方で、そういう署名活動が行われているというの情報もいただいています。

3点目の無くなった学校についてどうしますかというところは、こういった基本方針の流れと合わせて、地元の方とそういったいろんな活用方法を考え、一緒に考えていきながら進めていきたいと思います。

6-3. その学校の所有者というものは、ちょっと変な話が入ってきたのですけども、ちょっと言えないですが、その学校の所有者というのはどこでどのようにわかるんでしょうか。ちょっと変な話が入ってきております。ちょっと申し上げられませんが。

(教育委員会)

設置者は市長になります。

6-4. たとえばどこか違うところに売るとあるのですか。その学校自体をどこかに売る、金の持っている誰か、もしくは国による話、そういうことを確認することはできますか。こちらの方ではちょっとそういう情報を持っていないので、売ったという話が入ってきたのですが、その話がほんまの話かどうかちょっとわからないんですが、もうすでに売ったという話が耳に入っています。それは市民の方からのご意見なので、調査わかんないです。僕にはわからないのでどのように調べたらいいか、そういう情報をお持ちでしたら教えてください。

(教育委員会)

橋本市内ではありません。

6-5. そういった話はないという話でいいですか。ここだけ確認したいです。お金がないという話を、橋本市は売りましたとこういふ話が入ってきた。これはほんまの話かどうかはわかりますか。

(教育委員会)

今運営している学校そのものを、例えば、別の法人に売るとか、とある高校とかでもそういう話があったかもしれませんが、それは橋本市内では今ないです。

6-6. それはどうやって確認できますか、目で確認したいんですが。

(教育委員会)

実際小学校 14 校、中学校 5 校、19 校の公立学校でそういう話は、教育委員会事務局はかわっておりません。今現在。

6-7. 今現在ないってことですね。今後もないということですか。

(教育委員会)

今後のことは今申し上げられないですけども、少なくとも今運営している学校をそういう身売りするお話すらもございません。

6-8. 橋本市教育委員会と関係ないかもわかりませんが、橋本市民病院が超赤字だということをお聞きしました。赤字が膨らんでどうして対策できますか？教育委員会と関係ないかもしれませんが、お金が相当危ないらしいですね市営の病院ですからかなり危ないと、対策も打てないというふうに聞いています。そういったことで、橋本の税をそっちにまわしてきてするような対策をすれば、先ほど、もっと上がると言っていましたけど、もっと上がるじゃないですか。そうなってきたら我々は生活どんどん苦しくなってくる。そうなってきたときにこれは我々の生活を守っていけるのか、非常に僕は危惧しております。ご意見だけ言ってバトンを渡しますけども、かなり危ない状況だということも、併せてそういうことも知らせて欲しいんです。危ない状況も共有しなければ、わからないじゃないですか、対策を打ちようもしようもないじゃないですか。だからやっていることは知らせて欲しい。危ない状況も知らせて一緒になって、はぐくむ条例があるんだったら、一緒に考えませんか。我々も参画しますから、一緒に戦いますからこの危機的な状況を。どうやって乗り越えるかって必死に頑張りますので、そういう情報は提供していただきたい。全然僕らはわからへんから議員でもないし市長でもないから、議員さんの皆さんにもそうお願いしたいと思います。やはり知っている情報は共有したい。

今日、市会議員さん 3 名ほど来ていらっしゃるんですけどもね、やはりそういう方にもやはり情報共有をしていただきたいなというふうに私はお願いしたいと思います。以上です。

7. これだけの人数が集まっていないということで、広報とか回覧とかで、知らせましたという話ですよ。でもなんかこんだけの人しか来てない。こないだラジオを配りましたよね。そのラジオで、地域で今日はありますみたいなことを、そういうことをやればいいんじゃないですか。もう他に何かその手段があるのだったらいいんですけど、いろんな手段を

持って、この会に集まってください。ちゃんと説明をします。これは重要な会議ですよということをやっぱり言わないとわからないと思います。私もなんかたまたま、今日は、同じ住民の方と話したんですけど、今日なのみたいな感じなんです。紀見ヶ丘だけかもしれませんがね、他のところは、橋谷とかは来てらっしゃったんで、もしかしたらきちんと回覧とかしてるところもあるかもしれませんが、紀見ヶ丘は基本的に大阪から来た人とか、結構そういう人も多いので、そんなにこんなことには興味がないというだけかもしれませんが、できれば小学校のことですしね、基本的には何か高齢化もしていることもあってあんまり興味がないと。でも、基本的に先ほど別の方おっしゃったように、いろんな住民サービスが上がっていくんです、やっぱ人が減ったら。だから、移住定住を頑張っただけで欲しい。できたら子育て世代が入って欲しい、そのための施策をしていかなければならない。その中で、ずっと10年前から学校を何か減らすというマイナスなことを言っているわけですよ。それでどうなると思います。紀の川市とか、九度山町とか、かつらぎ町に住むんですよ、簡単です。別にそうすれば、学校はあるんでね。だからそこは、競争しながらやっているわけじゃないですか。前も東京都知事でも、落ちた候補さんですけども、何か人口増やしますよ、東京都なんか人を減らして、そう変わらない地方の人口を増やしますよみたいなことを言って、何かちょっと訳のわからんことを言うてましたけど、でも基本的にそれというのは日本全国の問題であって、やはり競争はせなあかんのですよ。移住定住と競争ですけど、基本的に他の市町村と競争してやる。

先ほど給食費の話も出ましたが、無償化したらいいじゃないですか。無償化して、もっと人を呼ぶことしたらいいんですよ。そんな料金上げることばかり考えていたら、誰も来なくなりますよ、水道料金高いですよ。なぜ高いかというのは、皆さん知っていると思いますが、15万人都市で作ったからですよ。15万人都市の水道を5万人で、今携わっているからですよ。紀見ヶ丘も、基本的にそれまでは何か個別排水やったけども、それが公共下水になって、それは橋本市のなんか公共下水がとおったからですが、稼働して欲しかったんですけど、或いは自分なんかもっといろいろ言いたいことあるんですが、そこはちょっと端折りますが、基本的にそこでつなげたおかげで公共料金上がったんですよ。それは月4,000円でよかったのが、今は普通の家庭でも6,000円ぐらいいるんですよ。それはもちろん、2人家庭とかができたらもうちょっと少ないかもしれませんが、使用料の6割か7割とか知りませんが、その金額で来るから、普通に洗濯とかしてても、それぐらいの数はいるんですよ。うちも3人家族でそんなに使わないですけど、それでも1万3、4千円いるんですよ。一番高いですよ橋本市の水道料金。この地区で、多分なんか高野口町は合併してびっくりしているんじゃないですか。高野口町の町民の方は、こんな高かったんだと。私もちょっと裏の情報を知っているんで、ある人が教えてもらったんですけど。やめときましようか。

8. 岡潔が好きで岡潔の勉強会もいろいろやっています。ここの卒業生です。卒業する学校がなくなるということが身近に感じて、本当に他の地域でそんな人のことを、話を聞くわけなんですけども、やっぱり1人になってでも、学校は学校として残して欲しいというのが私の思いです。どういう状況で残るかわかりませんが、岡潔の記念体験館ができています。その運営の方にも関わっておりますけども、そういう意味においては、本当に素晴らしい地域で、岡潔が3大発明をした環境を作っていたのは、慶賀野の地区であり、紀見峠なんです。だからこういうところの、先ほど言われましたように、学校2つあったら。2人でも学校だということが残して欲しいというのが私の思いです。以上です。

9. 岡潔のことをおっしゃっておられますが、私もですね岡潔という偉大な方がいらっしゃいますから、やはりこの世界に岡潔をPRするぐらいのことをしていただきたいと常々私は提案申し上げております。やはり教育は情緒であるということを大きく打ち出している方ですから、今日なんか橋本市の僕ちょっと見たことないんですが、平均的な子供を育てるみたいな形の文言があるようなことをちょっと聞いたんですけども、平均的なような方じゃなくて、その日本で橋本市が一番輝いているぐらいの志は高く持っていたきたいなと思っています。平均的なというようなところで逃げないでいただきたいというふうに思うんですね。

今水道の話もちょうと出たんですけど、大滝ダムから水道の権利を買っているから高いんです。皆さんとそういう話なんで、大滝ダムからの水の権利を買っているから高くなっているというような橋本市が一番高いというのはよく苦情もあるようで、水もまずくなって高野口の方もかなり言っていますので、そういったことも教育に関係ありませんけど、一応お伝えしたいと思います。

(教育長)

今、平均的なというお話ありましたが、私たち自身はそういう思いは持っておりません。これから、私たちが育ってきた状況から、かなり子供たちが育つ環境というのは変わってきています。その中でも、しっかりと自分の考えを持って、みんなとそれこそ対話しながら、いろんなことに問題解決できる子を作っていくために、地域の人たちの力をかなり借りています。これ本当に感謝します。いろんなところで説明会に行ったら、うちの教育こういうことで、よくやってくれているんですよと聞かせてもらいます。これは本当に今、取組でいることへの評価と思ってうれしく思っています。だから地域とともに子供たちを育てていくというスタンスで私たちはいます。地域の課題を子供たちとともにいろんなことを見る中で、子供たちも市民性の気持ちを持ちながら育ってくれることを目指していきたいと思っています。

10. 紀見ヶ丘に住んでいます。今までの意見を聞かせていただいて思ったんですけど、私も前から思っていました。この紀見ヶ丘はちょっと地理的に特徴があると思うんですね。

この資料拝見して、南部の方の人口減少とその小学校の必要性。紀見ヶ丘は不動産価値としての意見が出ていましたけど、確かにそうです。現実に物理的に考えますと、さっきの象徴的岡潔のそれはわかるんですけど、物理的に考えて、ついこの間の新トンネルができて、橋本市でも一番北部にあるロケーションである。これは私も大阪に30年通勤していて、最盛期の電車の混んだとき味わいましたけど、だからここは一番通勤、大阪府内から行くと便利、実は私どもも大阪から引越してきた新住民であります。それが、先ほどから出ているとおり、小学校で2人の息子たちが世話になり、紀見北中学、橋高と全部お世話になりました。だからありがたい、感謝しているところです。これがなかったならば、そういう原因はできなかつた。真ん中の方おっしゃっていましたが、100%そうだと思います。だから、橋本市が第1は教育も大事、私も今までお聞きした教育委員会教育長のお話100%賛同します。しかし、政治が絡むと思うんです。そういう政治というのは何かと言うたら物理的に橋本市は、人口増加策をとらなければ、絶滅危惧種になると思いますよね。今でもなりつつある。これを防ぐには1人でもふやす策をとらなくちゃいけない。

しかし、少なくとも減らす策をとることはまずいと思うのですね。橋本の中でも、北部大型団地、城山台とかありますけど、大型団地の方では、小型中型の紀見ヶ丘、光陽台ですけど、それでも1,000軒500軒あるでしょう、2,000からの人口は大事にしないと。今でも5万5,000、10年も経たないうちにこの表でも4万6,000となる。それがもっと加速する。下手をすると、この辺は廃村のような状態になってしまう危険がある。今でも、バスにはご存じでしょうか、乗って残そう路線バスなんて寂しい、襷をかけているんですよ。だからそれがもう、かけなくなると思うと自動消滅。りんかんバスは、ここを諦めるということになりかねない、そうすると小学校は無いわ、りんかんバスが無いわで完全に首つり状態。だから、教育委員会が首つりの足を引っ張るようなことはしない方が、その教育のそれは建前というか本音でしょうけど、それと現実とはバランスを考えていただいて、市の方もわかっているかと思うんだけど、これは出てくるのはちょっとこの北部団地のこの状況を見無視しているんじゃないかな。ちょっとここはとにかく大阪への通勤があつてこそその団地だったんですよ。私はそう思って入ってきたんですから、30年以上過ぎましたが35年、そこから辺をもう1回ちょっと中でも検討していただいて、今日は教育長、以下教育の方ばかりですからその辺について無理かもしれませんが、教育という中身以外の、その外部の要因を検討して、さっきどなたかもおっしゃったけど、私の住んでいる隣、こども園の大工事をしている、なんじゃいなと思う、素人でも思いますよね。その辺もあわせて政策として、今言った、新トンネルですぐなんですから、どっちでも買い物近いという感じで、そこを使って選定しない手はないと、そのまま廃村を待つというのはおかしい。重ねてお願いしておきたいと思います。

11. 今の意見もあつたとおりですけど、基本的に紀見ヶ丘が入っているのは、実際、三石台がすごく駅前で高いと、その代わりに紀見ヶ丘がちょっと手頃感がある。実際中古も含

めて、それなんか人口が増えている、みな大阪へ通うためですよ。南海バスがあるからです。もし小学校がなくなれば、先ほどの住民の方おっしゃられたように、多分ここはより人が少なくなります。本当にバスがなくなって、公共交通がなくなって、死んでしまうんですね、基本的にね。そんな死んだところに住み続けるということは、やはり、まちづくりとしておかしいと思います。移住定住で基本的に増やしていかなければならないのに、そういうマイナスな情報をもう10年前から流しているんですよ。中学校の廃校が始まって、ずっと流し続けている、これからも流し続ける。それで人なんか来ると思いますか。

先ほどの方がおっしゃられたように岡潔先生の母校ですよ。何か橋本市は、前畑さんのことなんかいろいろ宣伝していますが、教育委員会ですか、ホームページ見ましたけど、教育委員会で前畑さん事業をしていると、前畑さんはちょうどベルリンオリンピックのアンカーなんで、なかなかこれNHK取り上げられないので、それでなんかそういうものにならないですけど、岡潔さんはそんなないですよ。それが売りと言えば橋本市の本当の何か偉人の中の偉人やと思います岡潔さんは。だからその人の母校を取り去って、それでそういう事業をやっているのか、一応やってるかどうかあれですよ。でも、やっぱり地元の方がそんなふうにおっしゃっていることを無視して、それでも潰していくのはどうかと思うので、そこら辺は再考願いたいと思います。

12-1. 給食についてちょっと聞きたいんですけどもよろしいでしょうか。

徳島県とかでコオロギ食とかが今流行っておりますが、橋本市ではコオロギ食を使っているか、使っていないかまず確認したいのと、国の施策としてはゴキブリウジムシをこれから子供たちに食べさせるとこういう話になってきてるようですけども、子供たちに安心安全なものを食べさせるこれ当たり前のことだと思うんですね。やはり食というもので精神が整っていく、金芽米を栄養価が高いからどうかと言って、かつらぎ町では金芽米、給食に食べさせることが始まりました。橋本市もそうやって子供たちに栄養価の高いお米を食べさせていただくとかですね、そういったことで個人的意見としては子供に安全な食を食べさせる、もうこれ当たり前のことだと思うんです。

コオロギ食を入れていないかどうか、パンの中にはもう練り込まれています、はっきり言うて名前を名称変更してアミノ酸等とか言ってね、そういった形でなっていますが給食として使っていないかどうか確認したいです。

(教育委員会)

給食につきましてはコオロギ食は導入しておりません。

12-2. 金芽米とかそういったことは今後どうでしょうか。もういいけど、別に確認するけど、やっぱり栄養価高いもん出してあげて欲しい。そっちの方に方向持って行って欲しいですけども、僕はそう思います。かつらぎ町で始まったのなら、橋本市でもできるはずだと思うんですけど。

13. いろんな面で教育のところと、まちづくりというのは違うかと思うんで、是非とも、もし2回目があるのだったら、まちづくりの人たちも、ここだけでも構わないんで、まちづくりにも興味ある方いっぱいおられるので、そういうところのご回答いただける方も一緒に来てもらえたらと思いますんで、ご検討よろしくをお願いします。

14. 先ほどの方もおっしゃっていましたが、教育やからと縦割りで教育のことだけ語っては駄目だとは思いますが。橋本市の職員さんで、多分教育だけでおったわけじゃないでしょう、そもそも。他のところに行っているわけですよ。橋本市の職員さんということは、橋本市をどうするかということをやっぱり考えるべきだと思います。個人的に、教育の場であるので言えないというのは、もしかしたらあるかもしれませんが、それをやはり言っていないとあかんのかなあと思うんですよ。やはり何かこう、今まちづくりのことを聞かれているんですから、教育であったとしても、やはり橋本市をどうしていくかということも考えてこの学校をどうするか、教育をどうしていくか、子供たちをどうしていくか、やはりそれがあってこそやと思います。これだけ教育の学校のそんな狭いところだけを考えてというのは無理があるし、そもそもここ今集まっている住民の方は、子育てはしていないんですよ、もうね。だからあくまでもこの町をどうするかということで来ているので、ただ、先ほどおっしゃられたように、もう小学校無くなったら死にますよと、実際それが何か切実な思いですよ、私もそう思います。

本当に橋本市はどうしたいのか、本当に増やしていきたいの。だって10年前からずっとマイナスのこと言うているんですよ、ずっと人口減っていつているんですよ。なんか人口減はあくまでも日本的な問題で国の姿勢で、橋本市のせいじゃないと言い切れませんか。だって基本的に何か宮崎のどうか知りませんが、移住定住で毎年100人とか増えているところあるんですよ、そこも100人増えるのだったら橋本市も増えますよ。だってあそこ、棚田あるじゃないですか、あんなやつを好きな人は人は絶対いますよ。住みたい人はいます。もちろんこんな新興住宅地に住みたい人もいれば、橋本市はもともと新興住宅地じゃなかったわけで、こういう何か農村のそういうところが、今でも残っているわけじゃないですか。そこには幾らでも人は入っていけるわけですよ。プラスこういうなんか今、普通の新興住宅地で大阪に通いたい。今は確かに大阪の方の地価も下がっているんで、そっちに流れているかもしれませんが、それを引き戻してくる、そうするためにはどうするかを考えたのかなっていうのが保育所やと思ってたら、小学校潰します。何かこうちぐはぐで、さっきおっしゃるように、方針がわからないんですよ。そもそも、どういう方針か。そもそも橋本市の市長さんがどう考えているか、私は知りませんが、こういう方針でいくとなれば、それに対して学校教育やら、他いろんなところも全部合わせてそっちの方針でいくというのが流れだと思うんです。

この教育の今の学校を潰していくというような統廃合、そういう方針の中に、人を増やしていくのが見えないですね、残念ながら。それも岡潔さんの母校まで潰すということまで

す。確かにここではなかったですけど、母校は母校です。前畑さんのと同じぐらいに、岡潔さんは、橋本市では偉人である。そういうことも皆さん知っているから、岡潔さんあれだけ橋本市のホームページもなんかこうやっているわけですね、あれ教育でやっているんですか、ちょっとわからないですけど。それなのに、そんなふうな感じで進んでいくというのがわからないので、そこら辺ははっきりした上で、実際、どういう方針でいくのかを、本当に決めていただいて、その上で、小学校の統廃合も考えて欲しい。

本当になんか小学生、中学生の教育方針もありますよもちろん、でもそれというのは、いろんな方法、策が考えられるわけですよ。それはそれで、先ほどなんかおっしゃってましたよ、なんか移住定住のところで、増やしていっているところもあるという話ですよ。他の市町村ではそういうのがあるわけですよ。もっと少なくともやっているところあるわけですよ。そういうところもあるのに、橋本市はこれだけ今 100 人ぐらいいてますよね。柱本小学校ね、70 になるかどうかわかりませんよね。そんなところも潰していくというのは、いかなものかなと。私個人的には思います。以上です。

15. 三石台区に住んでいます。ここを無くしたら、ゆくゆく、紀見北中学校も人数が減っていくと思うんです。ここに人数がこないとなるんで、人が住まなくなるんで。もうそこを潰すようにしか考えられないわけなんですけど、もうはなから潰したいがためにここを先潰すというような感じにしか思えないんで、ここをどないかして活性化というか、それをして欲しいと、市でそのまちづくりを。そして、自分は母校やったのが学文路中ですけど、学文路中はもう母校自体がなくなりました。西部中は多分あると思うんですけど、校舎を売っていないからわからないですけど、行って母校がないのは悲しいものがあります。体育館は残っているんですけど、保育園とかはできたんですけど、橋本小学校も旧のところも潰して保育園ができていると、ここも保育園にする予定とかあるんかというのが思ってしかたないですけど、ちょっとでも子供を、保育園ができて小学校がなかったら駄目だと思うんで、どうにかしてもらいたいと思います。

(教育委員会)

ご意見ありがとうございます。本当に皆さんがおっしゃられていることは、私たちも言葉で言いにくいですが、おっしゃるとおりですというのも正直あるんです。やはりいろんな場所へ行かせてもらったら、小学校、地域の拠点なくしたら過疎化が進むじゃないとか、もっと人口減るよとか、今まで地域の方にお世話なつたでしょとかとなってきたら、逆のこと言っているかもしれません。本当に私たちがこの今日、説明させてもらった中で目指すものが、どのような社会でも公立学校を卒業して生き抜いて欲しい、たくましく育てて欲しいという目指すべき子供の姿であったり、今の時代、私らが小学校の時と言うたら、外国語もなかったしパソコンもなかったんです。黒板で先生が書いて一斉授業というのが主流だったんですけど、今はもう ICT 化が進んで、お孫さんとか子供さんの授業参観に行ってもらったときに感じていただけると思うんですけど、授業スタイルがどんどん変わっているん

です。方針は公立のことですけれども、私学ではどんどん先に進んでいる中で、今、このとおりに人数が少なくなっていったって、ある程度の学習保障ができたとしても、もっと少なくなつたときに、やはり子供の学習環境を維持しようと思ったら一定の規模が必要じゃないかというところに目をつけて、再編の案を出させていただいた次第なんです。

当然、市の職員なので、定住促進とか橋本市から子供が出る、移るということも考えていけないといけないのも確かなんですけど、我々としては、目指すべきものとしたら、未来の子供たちに、このままの学習環境で何もしなくていいのかというのは違うと思ったので、目指すべきものを示させていただいて、できれば皆さんに対してどう思いますかというのを頂戴したかったんです。

だから決まったことを押し付けたり、統廃合ありきの中身を言っていることだけは違いますので、今日いただいたご意見、しみりするものもありましたので、持って帰らせていただいて、総合的に考えさせていただきたいと思います。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見です。

16. 連日の説明会・意見交換会の開催ご苦労様です。結論から言えば、私は適正規模・適正配置には賛成です。柱本地域でも小学校が廃校となれば住宅価値が下がる経済的損得はまた別の機会に。

児童数が少なくなってくる小学校（柱本）含めて5年前の1年ごとの転入出の数字なども参考があれば嬉しいですね。また就学前の園児や低学年の児童とその保護者の意見がわからないのもノスタルジーに浸る卒業生の感情だけでは本意が伝わりにくいですね。DXを始めとする授業の内容や質、具体的な授業の写真等も必要でしょうか。